

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	経営学研究科 経営学専攻 博士後期課程《一般・社会人》	2026年度 春季
英語		

【1. 経営】

《解答又は解答例》

- 問1. 個人業績給は、各人の業績の変化を報酬の増減に最も緊密に結びつけるため、労働者に対して強力なインセンティブを提供すると一般的には考えられている。
- 問2. 個人の成果を測定することが困難な場合には、在宅勤務（WFH）の利用が個人業績給の受給に対して認識できる影響を与えない可能性もある。
- 問3. 個人業績給が従業員間の指導（メンタリング）や業務支援、協働に対するインセンティブを提供しないことは、在宅勤務の環境のもとでは特に問題になると思われる。
- 問4. ④
- 問5. 物理的な近接性と対面での交流は、交友関係やインフォーマルなネットワークの形成、同僚に対する利他的な感情の発達、協力しようとする内発的な意欲を促進する可能性も持つ。
- 問6. 企業文化を構築し維持するためには、組織にとって重要な価値や規範が、組織内の他のメンバーとの社会的な交流を通じて伝達される必要がある。
- 問7. それどころか個人業績給は、個人の成果に焦点を当て、協働や企業の目標を軽視する傾向を助長する可能性がある。

《出題の意図》

博士後期課程では、経営学の領域における英文の学術論文を広くレビューすることが求められます。そのための十分な英語の語学力を保持することを確認する問題を出題しています。経営学の一分野にあたる組織や人材のマネジメントに関わる今日的なテーマを扱った英語学術論文をもとに出題しており、文脈理解にもとづく英文和訳と英単語の穴埋め問題から成ります。

【2. 会計】

《解答又は解答例》

著作権の関係で、掲載いたしません。

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	経営学研究科 経営学専攻 博士後期課程《一般・社会人》	2026年度 春季
英語		

《出題の意図》

財務諸表分析の手法は時間と共に確立されてきたが、研究者が常に意識しなければならない幾つかの限界が存在する。当問題は、主に経営不振の予測に関連した具体的な制約を、英語文献から読み解く力を問うている。

【3. 産業・経済】

《解答又は解答例》

問1 著作権の関係で、掲載いたしません。

問2 著作権の関係で、掲載いたしません。

《出題の意図》

本問の英文は、2014年にノーベル経済学賞を受賞した Jean Tirole による大学院レベルの代表的なテキスト『The Theory of Corporate Finance』からの抜粋です。「産業・経済」に関連する英文を、正確かつ的確に読解する力を評価することを目的としています。